

Nagoya University Medical Museum  
Small Exhibit 14th

ミニ企画展

# 看護の力

— 医学部史料室所蔵資料に見る看護のあゆみ —



東日本大震災  
東北大学病院記録集

阪神・淡路大震災  
神戸大学医学部記録集

2016 10. 20 THU - 2017 1. 31 TUE

平日 9:00-20:00 1月5日-6日は9:00-17:00

土 13:00-17:00

休館日: 日・祝日、12月28日-31日、1月1日-4日、7日

入場無料

名古屋大学附属図書館 **医学部分館** 2階入口ホール

問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館  
名古屋市昭和区鶴舞町65  
TEL 052-744-2505

**特別講演会 福田真人** (名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授)

2016年12月16日(金) 14:00-15:30 (名古屋大学医学部基礎研究棟 1階 会議室2)

「結核のロマン化と病気の本質」

「洗練さるべき技術として、また従うべき専門職としての看護は、近代的なものである。しかし実践としての看護は、洞窟に住む人たちの間で、母親が病める子どもの額を小川の水で冷やした、漠とした過去に遡る。」(Aequanimitas / William Osler, 1932)

フローレンス・ナイチンゲール(1820-1910)は、クリミア戦争(1853-1856)において、多くの看護婦を率いて、献身的に傷病兵の看護にあたり、わずか数か月で患者の死亡率を半減させました。この活動は、アンリ・デュナン(1828-1910)の赤十字運動の機運を生んだと言われています。

近代看護を確立させたナイチンゲールの誕生から200年を経て、今日、傷病者の手当てから、大規模災害時の復興支援など、様々な状況において、看護は、その力を発揮してきました。

ミニ企画展「看護のカー 医学部史料室所蔵資料に見る看護のあゆみ」は、名古屋大学医学部史料室(附属図書館医学部分館4階)に所蔵する史料の中から、看護のあゆみに関連する図書、写真などにより、展示公開します。

企画展期間中に、特別講演会も開催します。



## 特別講演会

入場無料  
予約不要



### 結核のロマン化と病気の本質

日時: 2016年12月16日(金) 14:00-15:30

会場: 名古屋大学医学部基礎研究棟 1階 会議室2

ふくだまひと

**福田 真人**(名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授)

京都市出身

東京大学大学院総合文化研究科修了(比較文学比較文化)

オックスフォード大学ウエルカム医学史研究所客員研究員

ハーバード大学科学史学科客員研究員

デリー大学客員教授などを歴任

著書: 『結核の文化史』(名古屋大学出版会、1995)『結核という文化』(中央公論社、2001)『日本梅毒史の研究』(思文閣出版、2005)『北里柴三郎』(ミネルヴァ書房、2008)



### 近代医学の黎明デジタルアーカイブ

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medlib/history/>

名古屋大学医学部史料室に所蔵している史料をデジタル化し、「近代医学の黎明デジタルアーカイブ」として、インターネットで公開しています。ぜひご覧ください。



### 資料ご寄贈のお願い

みなさまがお持ちの医学・医療史に関連する資料がありましたら、ぜひご寄贈いただきますよう、お願いいたします。